

授 業 科 目	臨床神経学		
教 育 内 容	専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	
担 当 教 員	和田真 他		
学 年	2	単 位 数	1
開 講 時 期	後期	時 間 数	講義 15 時間

■ 授業概要

神経内科疾患では、脳・神経各部の働きと神経路を理解し、障害部位と症候との関連性を理解することが重要である。神経内科学は現代のリハビリテーション医学を支える重要な学問体系であり、これを背景として神経系の機能解剖から神経・筋疾患の病態生理、診断、治療の基礎知識を学ぶ。

■ 到達目標

- 1) 運動や感覚にかかわる神経機能解剖学を習得する
- 2) 神経の障害部位と臨床像を関連付けて説明できる
- 3) 代表的な神経・筋疾患の病態と機能障害について説明できる

■ 授業内容

第1回	総論／解剖（脳・脊髄・末梢神経・血管・脳脊髄液）
第2回	総論／生理（反射・麻痺・運動制御）
第3回	総論／診断・補助検査
第4回	脳血管障害Ⅰ・Ⅱ 診断・治療・リハビリテーション
第5回	錐体外路疾患、小脳疾患 （パーキンソン病・脊髄小脳失調症）
第6回	運動ニューロン疾患、末梢神経・筋疾患 （筋萎縮性側索硬化症・ギランバレー症候群・筋ジストロフィー）
第7回	機能的疾患、外科的疾患 てんかん・頭痛・外傷性脳損傷・脳腫瘍
第8回	脱髄性疾患、痴呆・高次脳機能障害 多発性硬化症・アルツハイマー病など

■ 評価方法

筆記試験を実施して評価する。
筆記試験 100%

■ 教科書

「神経内科学テキスト（江藤文夫・飯島節）」南江堂

■ 留意事項・その他

<担当教員の実務経験>

本リハビリテーションセンター病院および研究所の医師を中心に講義を担当。